

From Ibigawa S A B O

堰堤工事着手へ準備 =内谷=

平成22年より林道の付け替え工事を行ってきた内(うち)谷【揖斐川町外津汲(とつくみ)】において、今年より堰堤の本体工に着手することになりました。

内谷の堰堤は、高さ11mの鋼製透過型砂防堰堤で、通常時の流水や土砂は下流へ流し土砂を貯める容量を常に確保し、土石流発生時には土砂や流木等をガッチリ捕捉します。また、川を堰堤で堰き止めることがないので、魚類の行き来ができるなど自然環境にも配慮された堰堤です。



工事着手前に堰堤付近の測量を行っています

外津汲内谷第1砂防堰堤設置箇所



春爛漫 各現場の工事も進む

3月末に昨年の工事が完成した瀬戸(せと)谷【揖斐川町日坂】においても、今年の工事が再開されました。今年は、右岸側の工事に着手します。また、冬期の積雪や雪崩の影響により中止していた西前(にしまえ)の谷【揖斐川町杉原】の既設堰堤に流木止め施設を設置する工事も再開しました。

現在揖斐川砂防出張所管内では、6箇所にて工事が進められています。各現場とも順調に工事が進められています。

高地谷では、補強擁壁上部のL型擁壁の設置が終わり型戻しを行っています



宇津志谷では、堰堤の上流部を施工するための工事用道路を作っています

流れ落ちる水を裏側から眺める =鷺巣谷第1砂防堰堤=

春もたけなわとなり、本業市根尾板所の「淡墨(うすずみ)桜」も満開となりました。淡墨公園では満開の「淡墨桜」を一目見ようと多くの観光客の方が訪れています。

淡墨公園の約1km程北に位置する鷺巣(わしず)谷に「鷺巣谷第1砂防堰堤」が整備されています。この堰堤は地元が進める淡墨公園構想の拠点の一つとして整備されました。管理用と散策路を兼ねた通路を堰堤の直下に設けて、流れ落ちる水を裏側から眺めることができる構造となっています。堰堤の完成時に周辺に植えられた淡墨桜の苗木も現在では大きく育ち、この時期は満開の桜を滝の裏側から楽しむことができます。また、周辺の景観と調和させるため表面を石張りにするとともに、曲線を取り入れた柔らかな形を演出しています。水通しから流れ落ちる滝は、全国に名前を公衆し「うすずみの滝」と名付けられ親しまれています。是非一度訪れてみて下さい。

砂防施設は土砂災害等から、地域の人々の生命や財産を守ることを目的に整備されています。併せて、地域活性化の核となるような砂防施設づくりも行われています。今後も、地域の方々とともに地域の未来を考えながら整備を進めていきます。



満開の淡墨桜



鷺巣谷第1砂防堰堤